

発行者 野田省一・後援会

電話(昼)45-2426・(夜)45-2703

携帯 090-4873-1915

E-mail nodac@nodac.co.jp



ブログ  
野田省一奮闘記

“努力するものは夢を語り、怠業の人は不平を述べる”

今回で私自身の発行は38回目になりました。ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください

# 平成21年度 第4回定例議会・開催される

## 各会計決算を認定

12月9日・10日第3回定例議会が、開催されました。議案6件、諮問1件、認定8一般質問7名などが審議されました。

### 議案

- ※主なもの
- 条例の改正
  - ◆むかわ町立学校設置条例の一部改正
  - ・生田小学校が鶴川中央小学校へ統合するための改正
- 一般会計・補正予算
  - ◆障害者の自立支援医療費などのサービスの報酬改正 2千500万円
  - ◆ゼロ歳児保育の増に伴う臨時職員人件費 372万円
  - ◆地域グリーンニューディール基金事業 940万円
  - ◆交通安全・LED照明の整備
  - ◆消防災害対策
  - ・有事、気象関係情報を通信用衛星を使い、全国の自治体に送信するシステム整備

### 諮問

- ◆冷湿害等農業経営維持資金利子補給 935万円  
限度額206万円
- ◆居宅介護福祉用具購入、住宅改修の補助費の増額 120万円
- ◆高額介護サービス利用者の増により 650万円
- 諮問
  - ◆人権擁護委員の候補者推薦につき、意見を求める件
  - ・任期満了となる石畑氏を再任するもので、適任としました。
  - 認定
    - 平成20年度各会計決済の認定。

### 任期満了

●任期満了により22年4月11日投票の議会議員選挙、町長選挙が予定されています。

早いものです、合併して4年がたちましたが、しかし、まだ4年、合併後の融和は道半ばでもありません。

これまでは、それぞれの町が持つてきた地域課題解決のために政策が実施されましたが、穂別地区においては想定外の診療所問題も発生し、いまだ解決に至っていないことは、真に残念であります。

1月20日現在、看護師も10名まで確保の見通しとなり、あと2名で、再開の最低限の人員が揃いつつあります。

●町長選挙については、2月に入ると、動きがあるかも知れません。

●町議会選挙は、16名の定数となり、地区割り無しでの初めての選挙となります。1月20日現在の私の【予測】ですが、鶴川地区立候補予定者12名、穂別地区予定者6名と予測しております。

○今回の選挙の状況は、穂別地区では、勇退者、前回の落選者の得票数の合計は、約千票あり、有権者減を加味しても950票は、これまで投票したことの無



鳩山婦人と

い、候補者へ投票をする事となり、少数激戦となり、私もたいへん「厳しい」状況でもあります。

・鶴川地区では、前回13名の候補で、11名の枠でしたので、想定される、下位当選者の上位当選が予測されますが、これまでと大差のない選挙とも考えられます。

・いづれにしても、初の地区割り無し選挙となり、暗中模索の選挙となります。

○今回より、私は、むかわ町唯一の民主党公認候補として挑んでまいります。

鳩山首相のお膝元の地域の一員として、より一層努力を続けてまいります。

野田省一後援会・事務所開き 2月20日6時のだっく・店舗

# 野田の自己評価は

## 問

野田の自己評価は  
総合的成果はあった

野田 新町として一区切りの年となり、合併後の10年計画の4年目を終えようとしています。新町のまちづくり計画で目指す姿、あるいは町長の施政方針で述べた重点政策の「地域資源を生かした活気あふれるまちづくり」、「むかわの未来を創造する人材の育成」、「協働でつくる个性的で安心して暮らせるまちづくり」について、どのように評価していますか。

山口町長 項目でいえば130項目以上あり、その中でも、実施をしたもの、継続中のもの、あるいは厚生病院のように一定程度めどをつけていくもの等があります。4年間の総括としては、一定程度、執行方針に掲げた、項目としてはほぼ計画どおりできたとおもっています。ただ、問題は、これからどう活用し、今後、効果を出していくかは、これからの大きな課題と思っています。合併の調整期間としての4年間執行してきた中で、一定程度の成果と計画どおりの執行に努めてきたと思っています。

野田 公の場で自己評価をしていただきたいと思い、質問をさせていただきますので、総体

論については、聞き及ぶにとどめますが、重点政策の地域資源を生かした活力あるまちづくりについては成果としてはどのように評価していますか。

山口町長 地域資源は、それぞれ地区の人、自然、文化でもあり、これら地域資源を、4年間の中で調整を図って次のステップにつなげていくことが地域資源の活用につながると思います。具体的には、食についても、いろいろ議論もさせてもらいましたが、お互いに交流を図りながら一つの町としての考え方を見つけていくということから出発をし、各種団体の皆さん方が、一体感を持つために、まず初めとしては、統合して、議論をしながら進めてきましたので、基礎的なものができつつあるとも思っていますし、まだまだ調整期間の中で道半ばとも思っていますが、私としては与えられた4年間は、一定の成果があったと思っています。 ※紙面の都合で、一般質問は一部紹介となりました、詳細は町議会の広報でご参照願います。

# 4年間で 振返って

一般質問は、4年間、全議会で15回連続で質問をしてきました。穂別町時代をいれると連続42回もしていました。これまで、一般質問で問いかけた質問・提案が多々前進、改善、新規事業として展開されたものもあります。

これまで、3期11年の任期をいただき、議会では最若年者でもありましたが、その中で、厚生文教常任委員長も務めさせていただきましたし、数年前より、民主党北海道9区総支部の常任幹事も務めさせていただいております。

もう、若さだけを武器にできる歳でもありませんが、柔軟な発想、行動には自身があります。

次の世代に今後どのような、故郷を残していけるかが、課題でもあります。

■合併して良かった点、悪かった点があるかと思われるかもしれませんが、ぬるま湯に浸かってしまっただけでは、風邪をひいてしまっています。ぬるま湯だった事を改め知り、脱却を図り、両地区良い点は取入れ、悪い点は正していくことが、必要です。お任せ行政から、自力で前進できる柔軟な発想が必要となり得ます。自力で前進できる町となることを目指したいものです。

# 決意

●診療所入院 緊急の再開を目指します。

●野田省一の議会報告会を継続開催し、皆さんの意思の疎通を図ります。

●合併後の穂別地区「のこれまで築かれてきた穂別らしさ心」を残すこと「情熱を傾けます。

●合併後、両地区の住民の皆さんの融和を目指し、皆さんのご意見を町政に反映し、疑問の代弁をいたします。

●鳩山代議士、田村道議を招きパークゴルフ大会等、楽しめる企画を実施し国政道政を身近にいたします。

むかわ町定例議会、開催は15回、これまでの一般質問回数累計回数です。氏名は伏せさせていただきました。

氏名	N	O	M	K	野田	M	H	I	M	H	N	Y	O	K	T	K	N	K	Y	T
一般質問 累計回数	15	15	5	7	15	4	2	2	0	1	1	1	0	3	4	14	9	0	0	0

